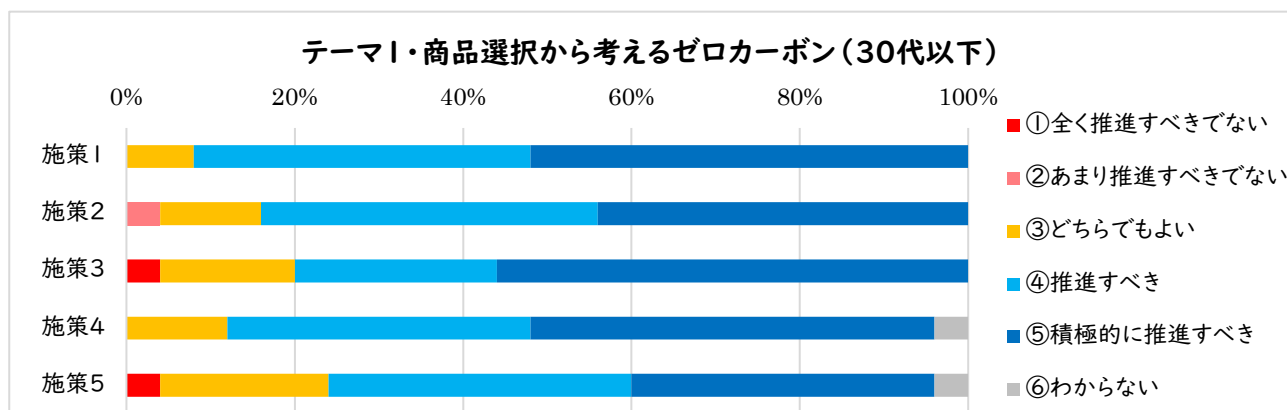
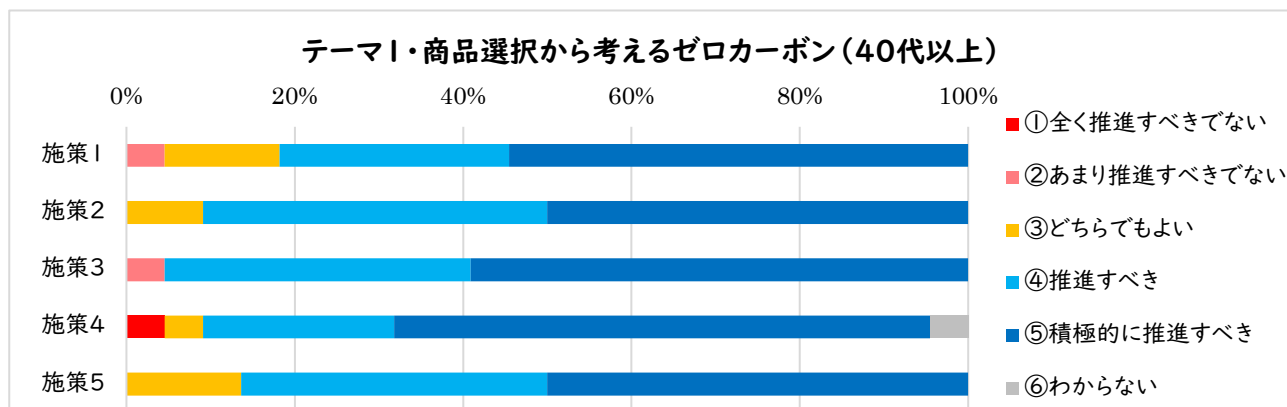


資料4. 投票結果（年代別）

回答頂いた47名を「30代以下（25名）」と「40代以上（22名）」の2グループに分け、それぞれ集計した投票結果は以下のとおり。

テーマ1『商品選択から考えるゼロカーボン』

- 施策1 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する
- 施策2 リユースやリサイクルを促進する
- 施策3 カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する
- 施策4 ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する
- 施策5 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する



ほとんどの施策について「30代まで」よりも「40代以上」の方が積極的な評価を行っている。特に施策2及び施策3にその傾向が強い。

- 施策 1 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する
- 施策 2 リユースやリサイクルを促進する
- 施策 3 カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する
- 施策 4 ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する
- 施策 5 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する

テーマ1『商品選択から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 〔30代以下〕 | 9票 (36.0%) | 1票 (4.0%) | 6票 (24.0%) | 7票 (28.0%) | 2票 (8.0%) |
| 得票数 〔40代以上〕 | 8票 (36.4%) | 3票 (13.6%) | 4票 (18.2%) | 4票 (18.2%) | 3票 (13.6%) |

ほとんどの施策について「30代まで」よりも「40代以上」の方が積極的な評価を行っている。特に施策2及び施策3にその傾向が強い。

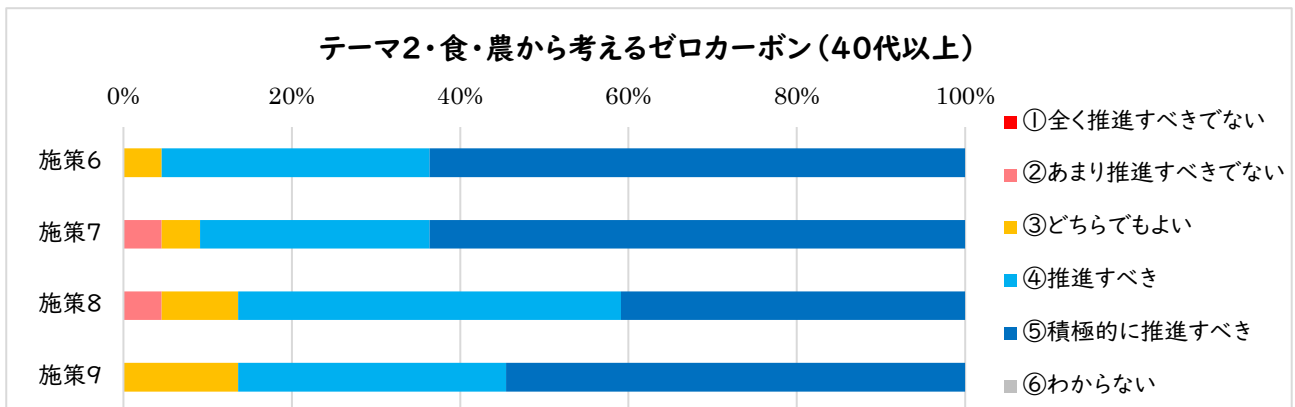
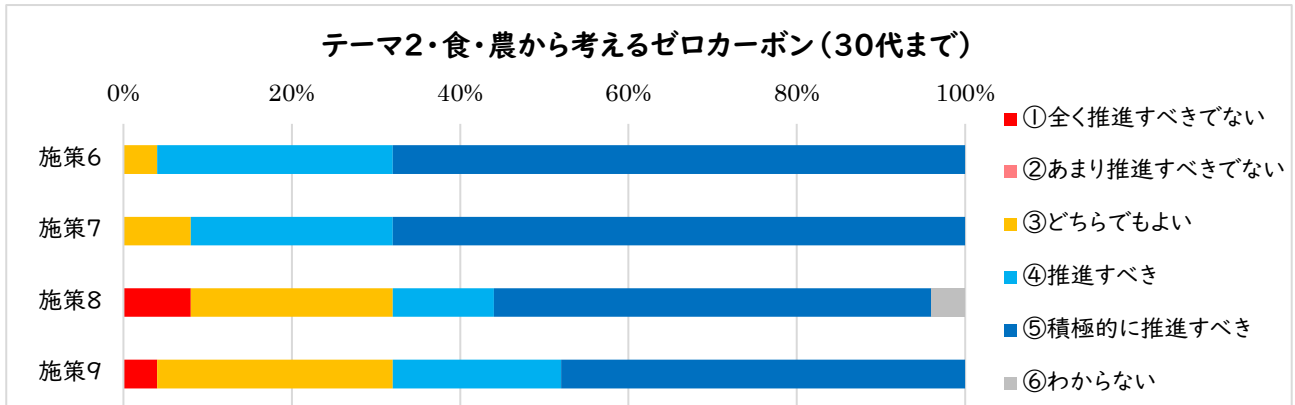
テーマ2『食・農から考えるゼロカーボン』

施策6 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する

施策7 食品ロスを減らす

施策8 ごみの堆肥化と活用

施策9 食と農への理解を深める取組を推進する



施策6 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する

施策7 食品ロスを減らす

施策8 ごみの堆肥化と活用

施策9 食と農への理解を深める取組を推進する

テーマ2『食・農から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 得票数 [30代以下] | 8票 (32.0%) | 11票 (44.0%) | 2票 (8.0%) | 4票 (16.0%) |
| 得票数 [40代以上] | 5票 (22.7%) | 9票 (40.9%) | 5票 (22.7%) | 3票 (13.6%) |

施策8、施策9については「30代まで」の方に消極的傾向がみられ、意見のちらばりも大きい。特に施策8については、最優先施策の投票数も低く、「40代以上」の投票数とも大きく異なっている。

テーマ3『エネルギーから考えるゼロカーボン』

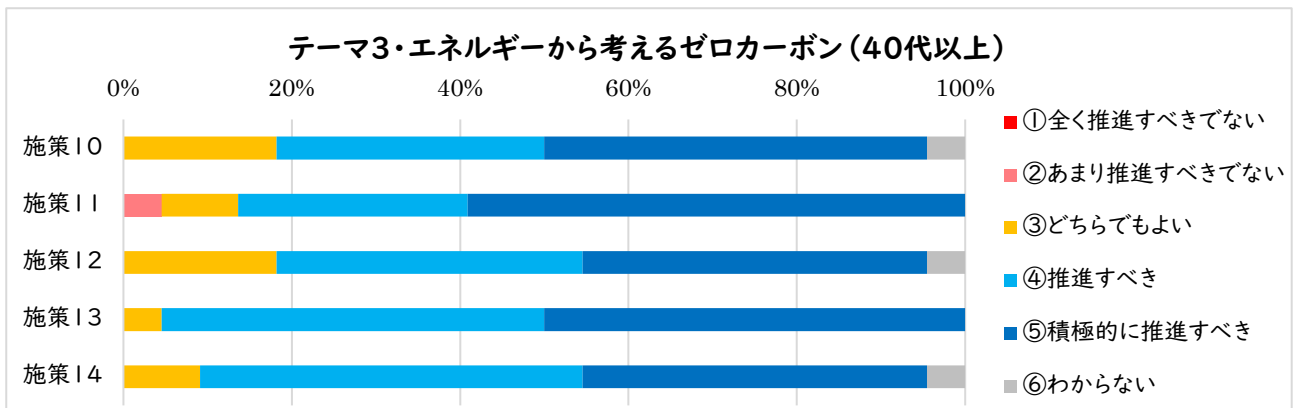
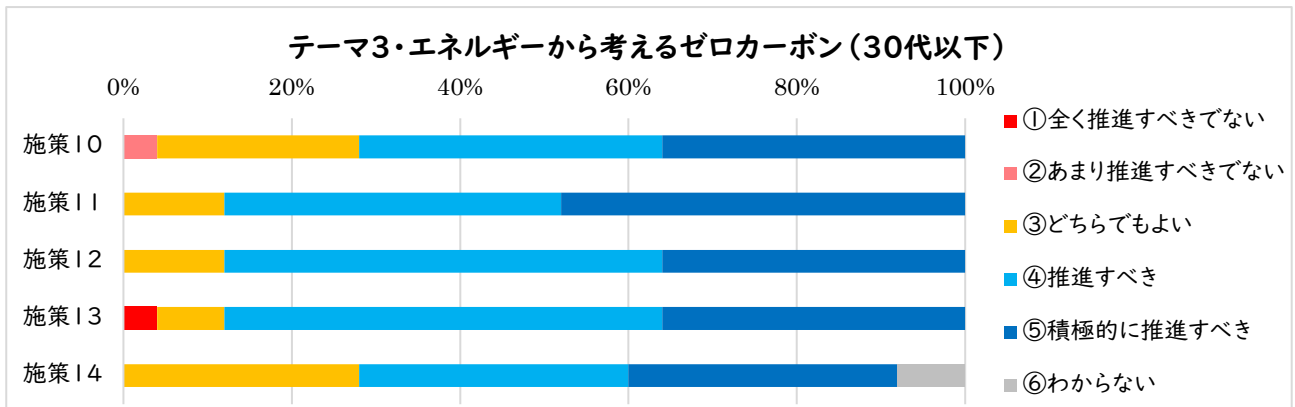
施策10 家庭向け太陽光発電を促進する

施策11 地域における再エネ設備の設置を促進する

施策12 再生可能エネルギー比率の高い電力（再エネ電力）への切り替え促進

施策13 エネルギーに関する市民活動を促進する

施策14 (株)ところざわ未来電力の利用拡大に努める



施策 10 家庭向け太陽光発電を促進する

施策 11 地域における再エネ設備の設置を促進する

施策 12 再生可能エネルギー比率の高い電力（再エネ電力）への切り替え促進

施策 13 エネルギーに関する市民活動を促進する

施策 14 (株)とところざわ未来電力の利用拡大に努める

テーマ3『エネルギーから考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|----------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|
| 得票数 [30代以下] | 5票 (20.0%) | 9票 (36.0%) | 2票 (8.0%) | 6票 (24.0%) | 3票 (12.0%) |
| 得票数 [40代以上] | 3票 (13.6%) | 10票 (45.5%) | 0票 (0.0%) | 5票 (22.7%) | 4票 (18.2%) |

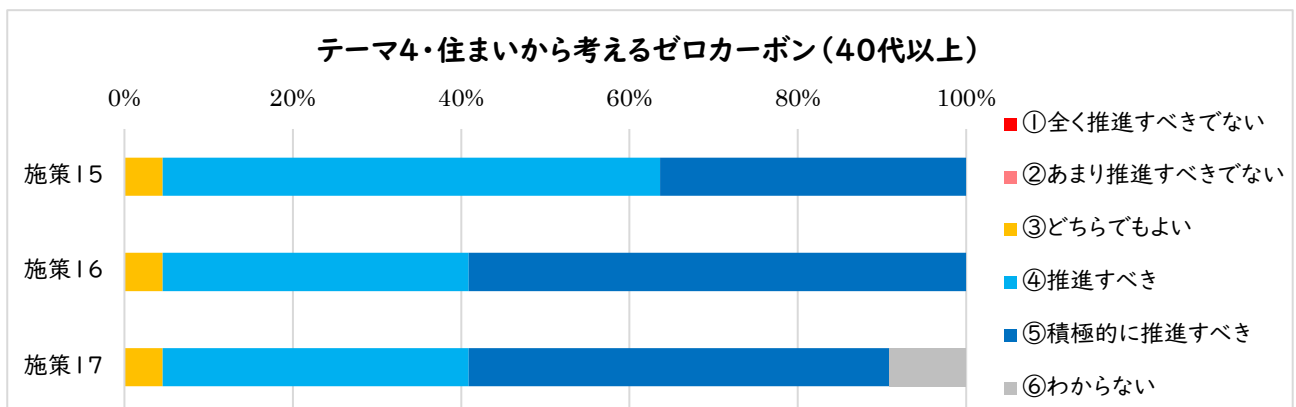
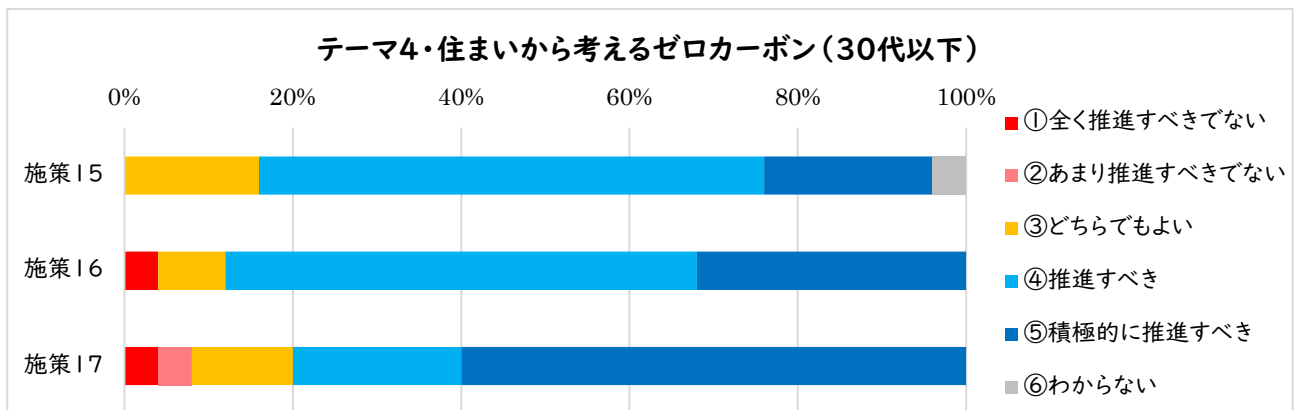
施策 10、施策 13、施策 14 については「30代まで」よりも「40代以上」の方が積極的な評価を行う傾向が強い。最優先施策の投票数については、年代ごとの大きな違いは見られないが、施策 12 については、「40代以上」の投票数が 0 票という結果となった。

テーマ4『住まいから考えるゼロカーボン』

施策15 機器・設備などの省エネ化を促進する

施策16 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する

施策17 まちに緑を増やす



施策 15 機器・設備などの省エネ化を促進する

施策 16 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する

施策 17 まちに緑を増やす

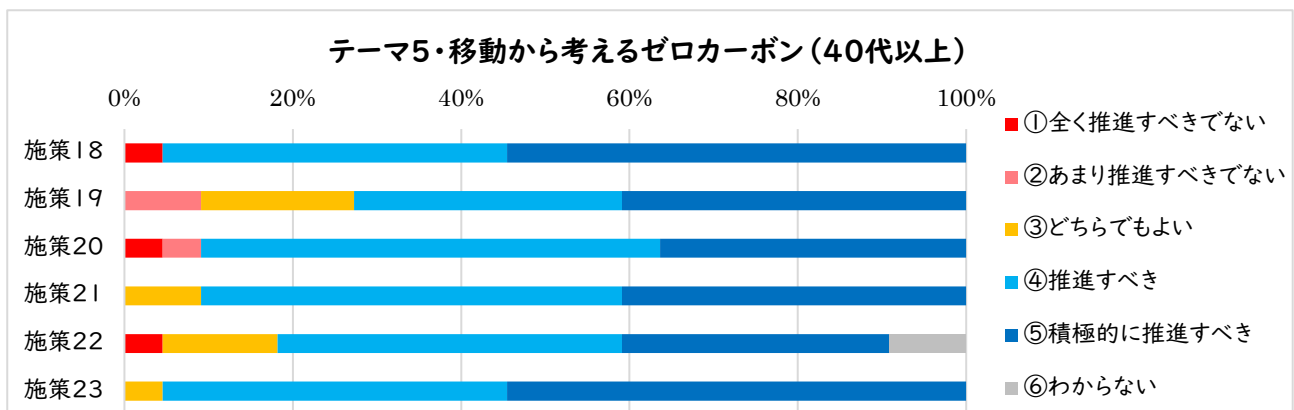
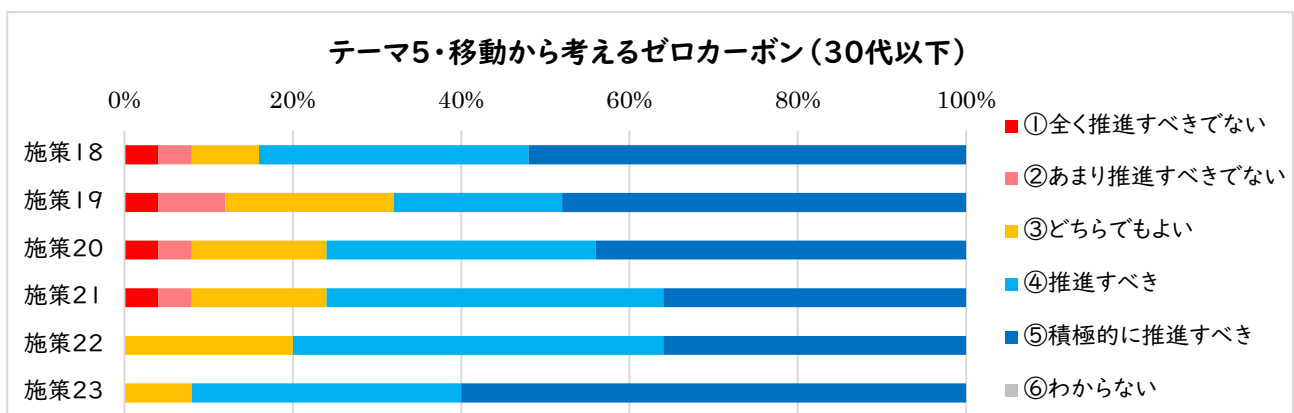
テーマ4『住まいから考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 15 | 16 | 17 |
|----------------|---------------|---------------|----------------|
| 得票数 [30代以下] | 4票 (16.0%) | 8票 (32.0%) | 13票 (52.0%) |
| 得票数 [40代以上] | 8票 (36.4%) | 5票 (22.7%) | 9票 (40.9%) |

すべての施策において「40代以上」の方が積極的な評価を行う傾向が強い。対して「30代まで」は、施策17については優先施策の投票数が一番多くなっているものの、意見のちらばりも最も大きい。

テーマ5『移動から考えるゼロカーボン』

- 施策18 自転車・徒歩での移動を促進する
- 施策19 バスの利用を促進する
- 施策20 自家用車を使わなくてもよいまちづくり
- 施策21 エコ車両の利用とエコドライブの促進
- 施策22 輸送の削減と効率化を図る
- 施策23 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める



- 施策 18 自転車・徒歩での移動を促進する
- 施策 19 バスの利用を促進する
- 施策 20 自家用車を使わなくてもよいまちづくり
- 施策 21 エコ車両の利用とエコドライブの促進
- 施策 22 輸送の削減と効率化を図る
- 施策 23 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める

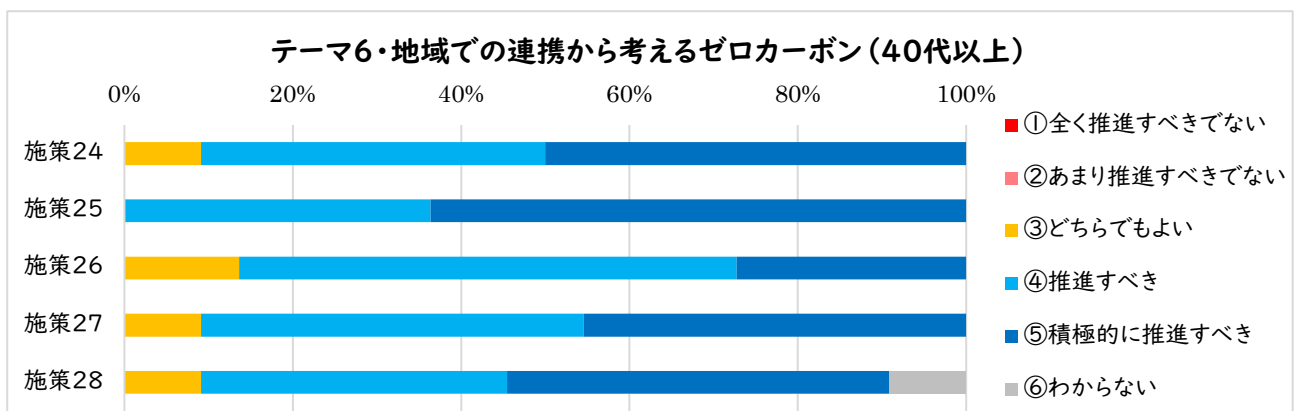
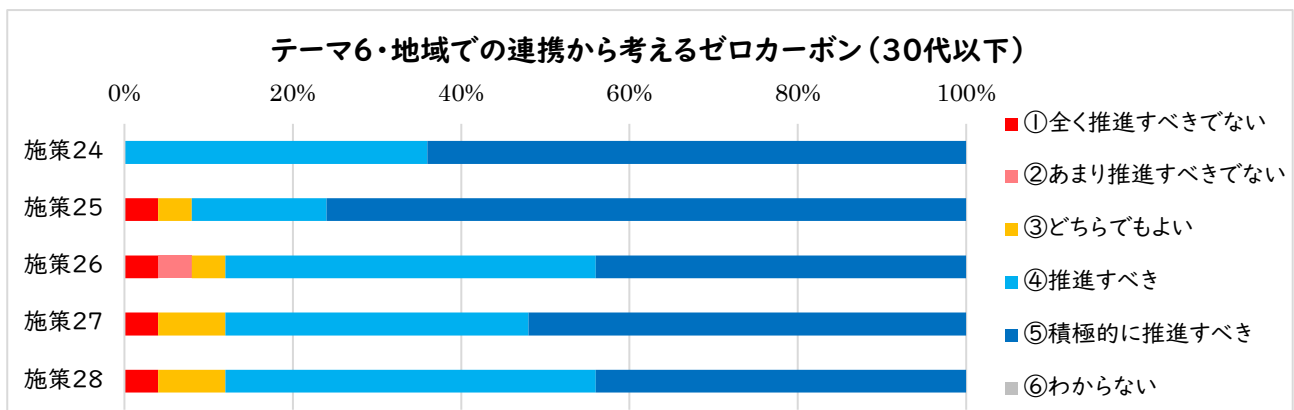
テーマ5『移動から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策

| 施策 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|----------------|
| 得票数 [30代以下] | 3票 (12.0%) | 4票 (16.0%) | 4票 (16.0%) | 3票 (12.0%) | 0票 (0.0%) | 11票 (44.0%) |
| 得票数 [40代以上] | 5票 (22.7%) | 2票 (9.1%) | 4票 (18.2%) | 3票 (13.6%) | 2票 (9.1%) | 6票 (27.3%) |

施策 20、施策 21 については「30代まで」が「40代以上」と比較して若干消極的な評価を行っている。優先施策の投票数は年代別の回答傾向に大きな差はみられなかったが、施策 22 については「30代まで」の投票数が 0 票という結果となった。

テーマ6『地域での連携から考えるゼロカーボン』

- 施策24 地域の連携をまちづくりに生かす
- 施策25 教育を通じた連携を促進する
- 施策26 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する
- 施策27 コミュニティでの取組を促進する
- 施策28 まちごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る



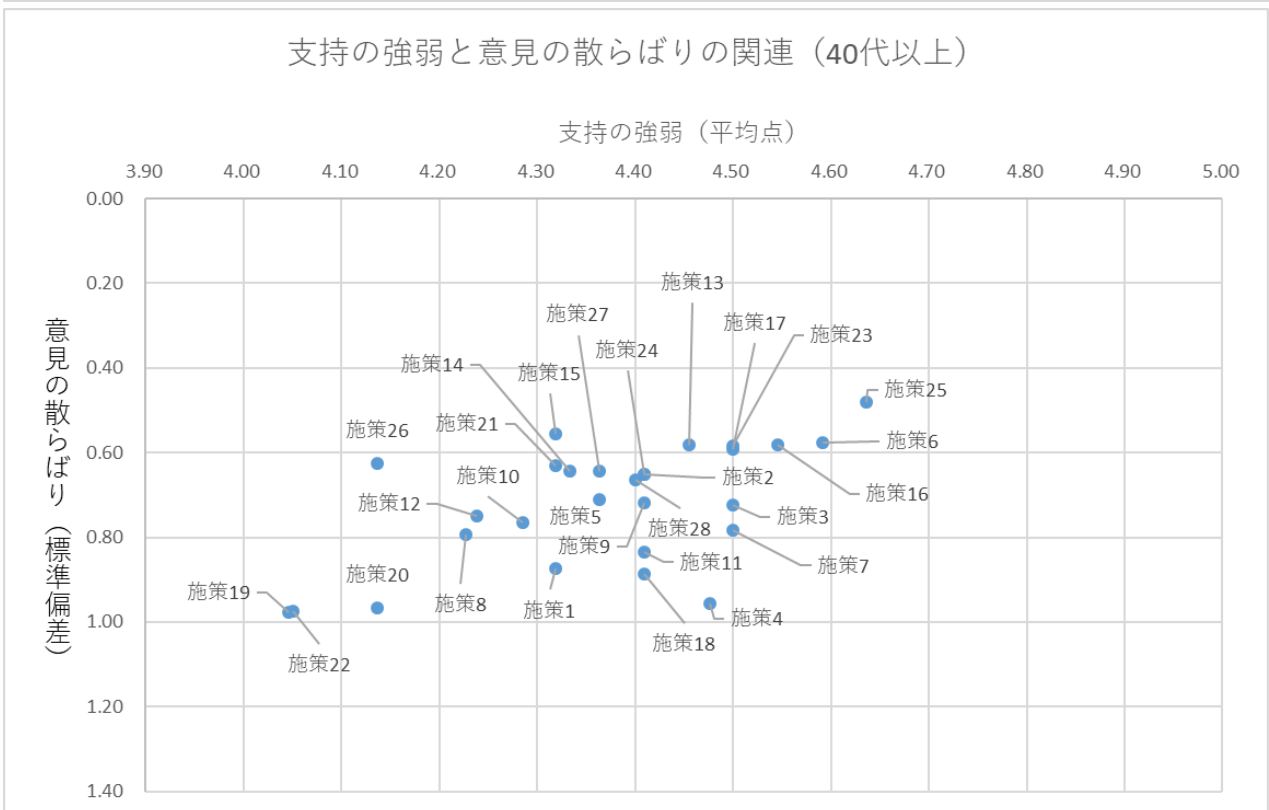
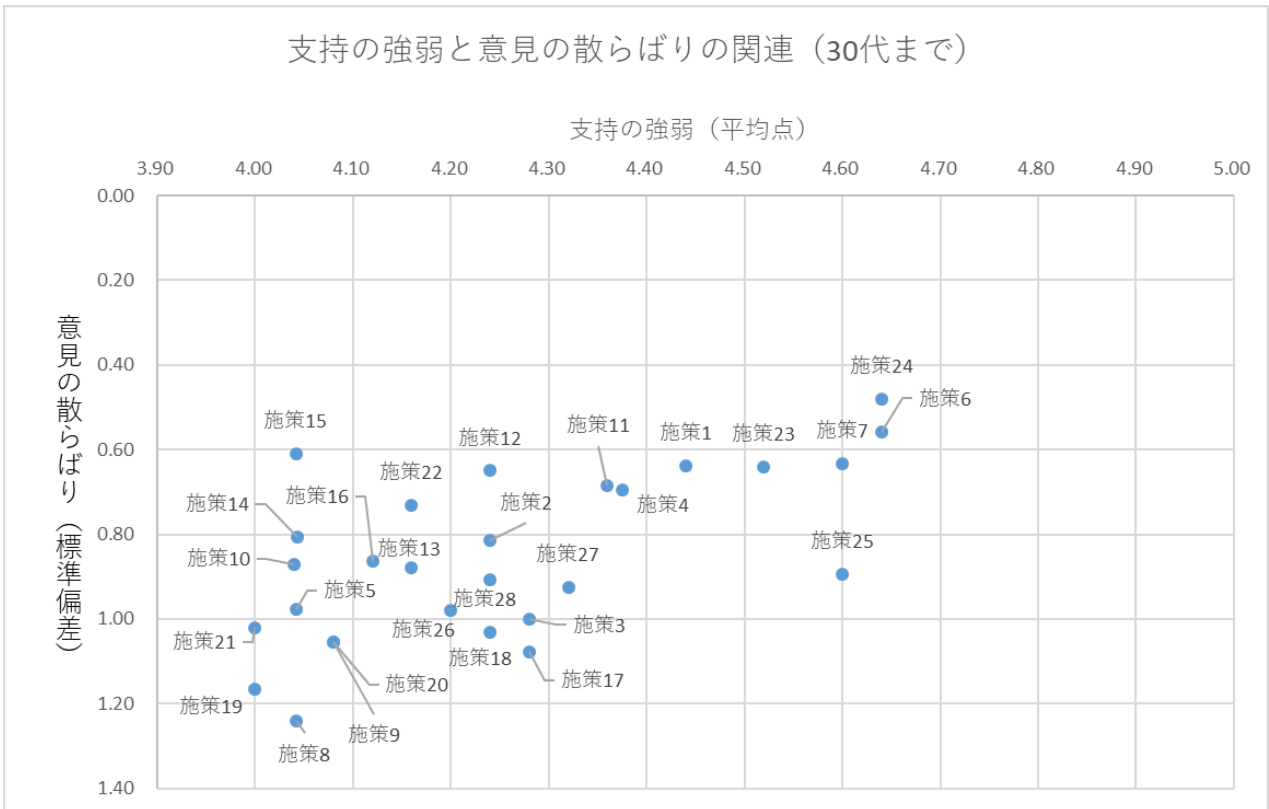
- 施策 24 地域の連携をまちづくりに生かす
- 施策 25 教育を通じた連携を促進する
- 施策 26 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する
- 施策 27 コミュニティでの取組を促進する
- 施策 28 まちごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る

テーマ6『地域での連携から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策

| 施策 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 [30代以下] | 5票 (20.0%) | 9票 (36.0%) | 6票 (24.0%) | 3票 (12.0%) | 2票 (8.0%) |
| 得票数 [40代以上] | 3票 (13.6%) | 9票 (40.9%) | 1票 (4.5%) | 0票 (0.0%) | 9票 (40.9%) |

施策 24 は「30代まで」が施策 24 は「40代以上」がそれぞれ全員推進すべきと回答している。
 施策 26、施策 28 については、最優先施策の投票数が年代別で大きく異なっている。

[年代別の集計結果（散布図）]



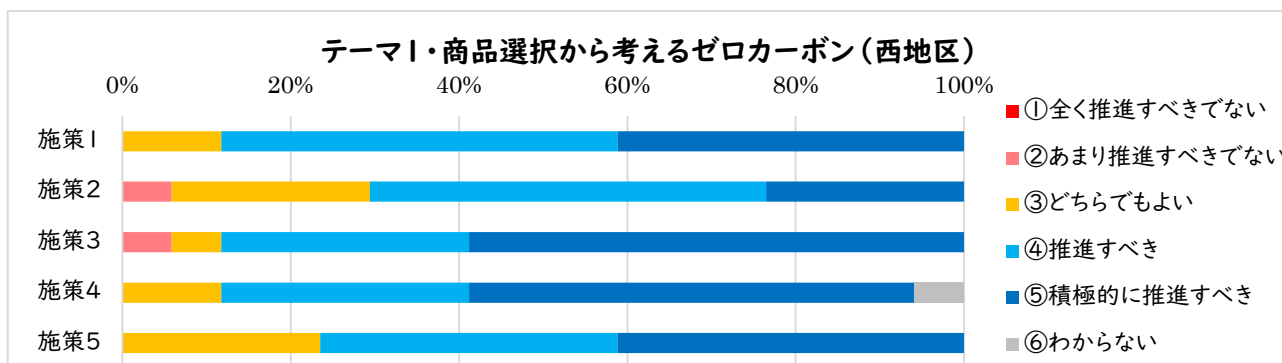
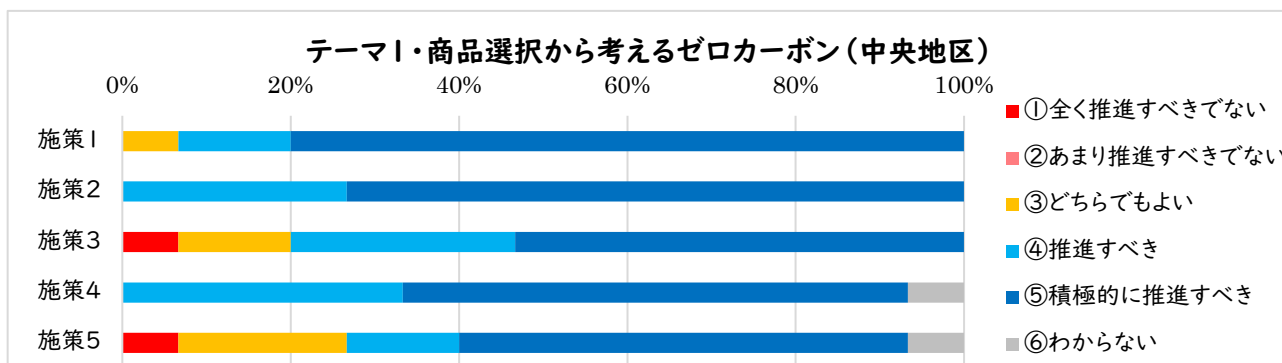
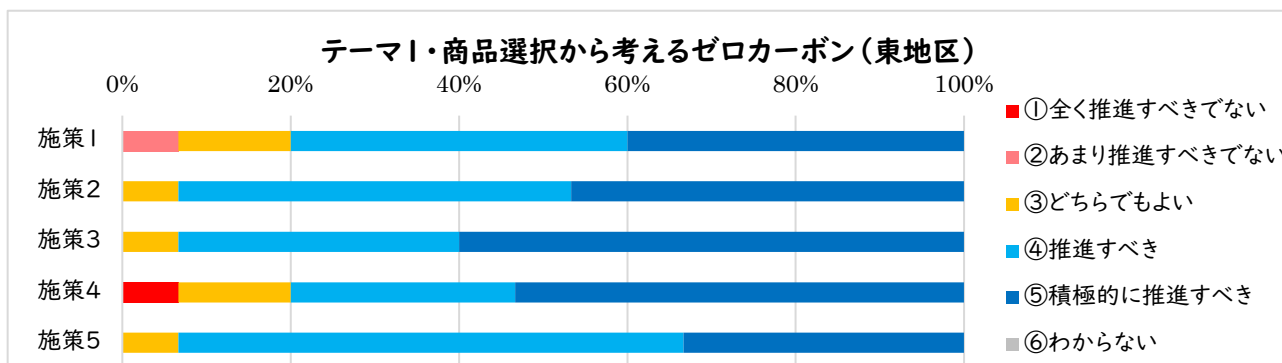
「40代以上」については、意見の散らばりがあまりなく、全体的に積極的に評価している。対して「30代以下」は、意見の散らばりが非常に大きく、特に移動分野にその傾向が強い。

資料5. 投票結果（地区別）

回答頂いた47名を、「東地区（15名）」、「中央地区（15名）」、「西地区（17名）」の3グループに分け、それぞれ集計した投票結果は以下のとおり。

テーマⅠ『商品選択から考えるゼロカーボン』

- 施策1 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する
- 施策2 リユースやリサイクルを促進する
- 施策3 カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する
- 施策4 ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する
- 施策5 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する



東地区では施策4が、中央地区では施策3、施策5に意見の散らばりがみられるが、西地区には意見の散らばりはみられない。また、中央地区では施策2、施策4に対して全員が推進すべきと回答した。

施策1 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する

施策2 リユースやリサイクルを促進する

施策3 カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する

施策4 ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する

施策5 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する

テーマ1『商品選択から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 〔東地区〕 | 7票 (46.7%) | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) | 3票 (20.0%) | 1票 (6.7%) |
| 得票数 〔中央地区〕 | 6票 (40.0%) | 2票 (13.3%) | 2票 (13.3%) | 3票 (20.0%) | 2票 (13.3%) |
| 得票数 〔西地区〕 | 4票 (23.5%) | 1票 (5.9%) | 5票 (29.4%) | 5票 (29.4%) | 2票 (11.8%) |

最優先施策の投票としては各地区ともに施策1の投票数が多く、西地区については票が割れる結果となった。

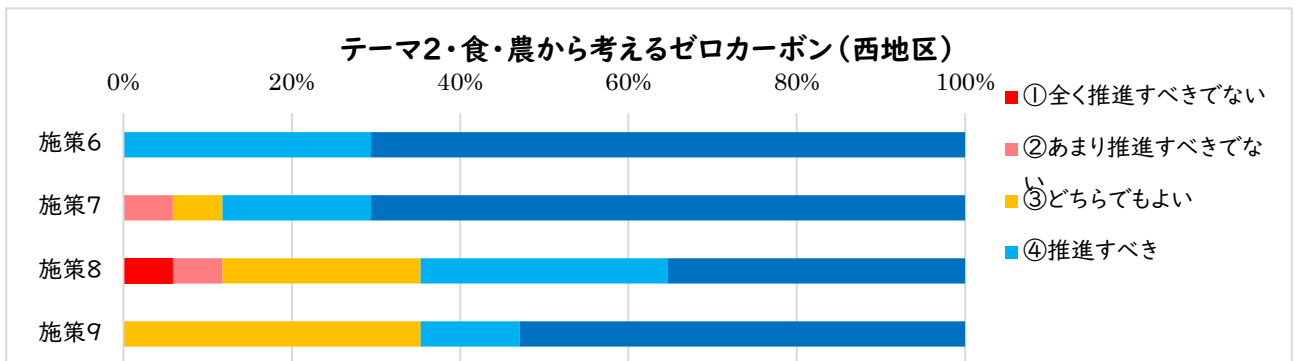
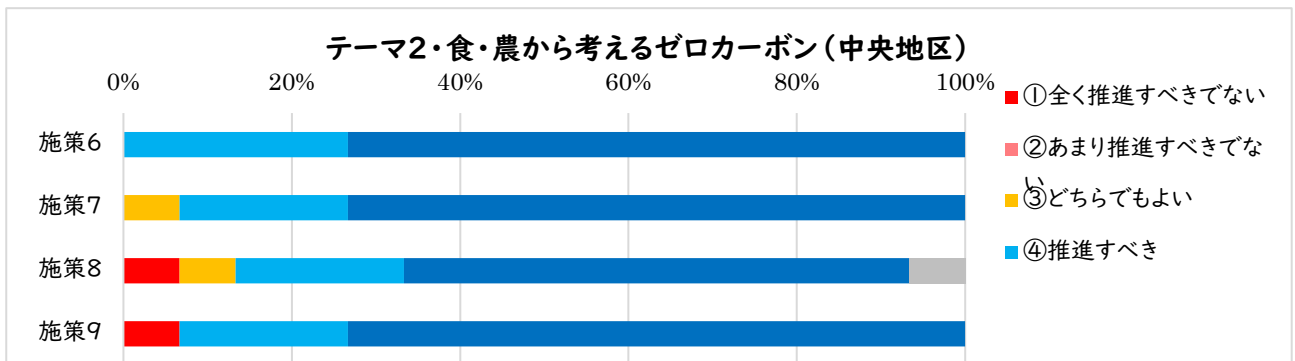
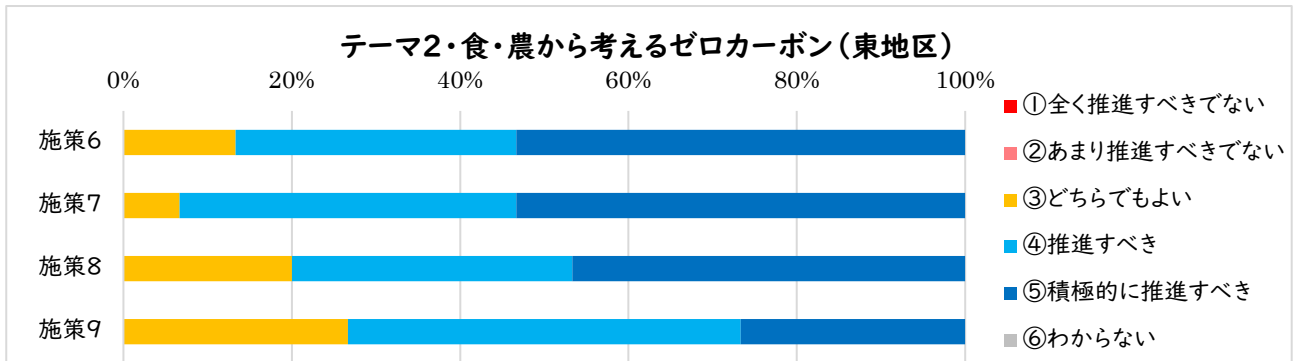
テーマ2『食・農から考えるゼロカーボン』

施策6 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する

施策7 食品ロスを減らす

施策8 ごみの堆肥化と活用

施策9 食と農への理解を深める取組を推進する



中央地区、西地区では施策8に意見の散らばりがみられるが、東地区には意見の散らばりはみられない。また中央地区、西地区は共に全員が施策6を推進すべきと回答した。

施策 6 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する

施策 7 食品ロスを減らす

施策 8 ごみの堆肥化と活用

施策 9 食と農への理解を深める取組を推進する

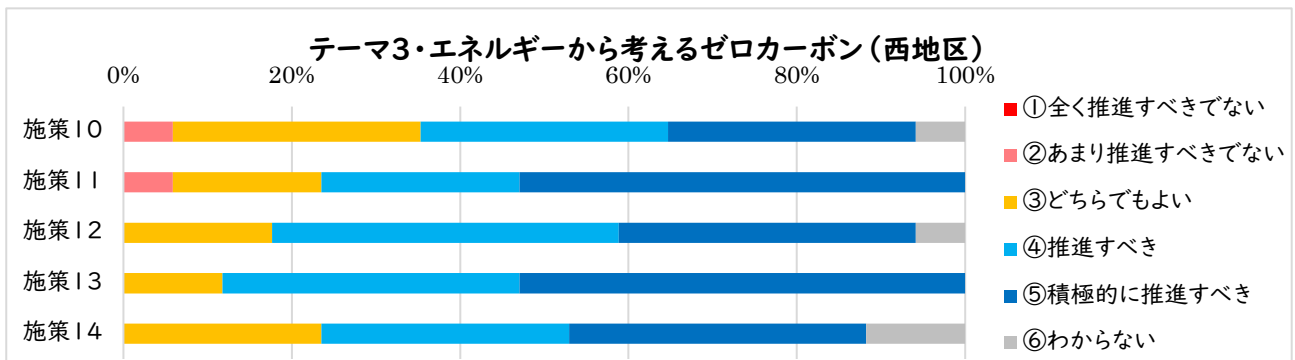
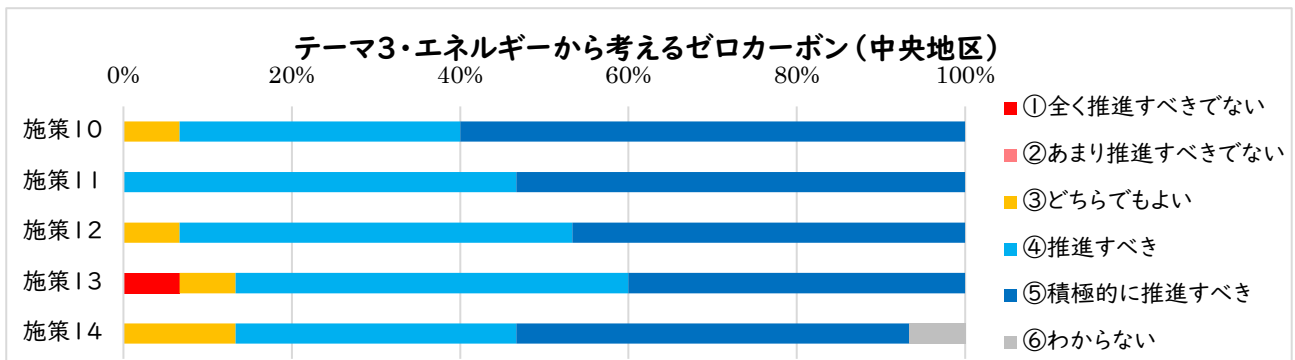
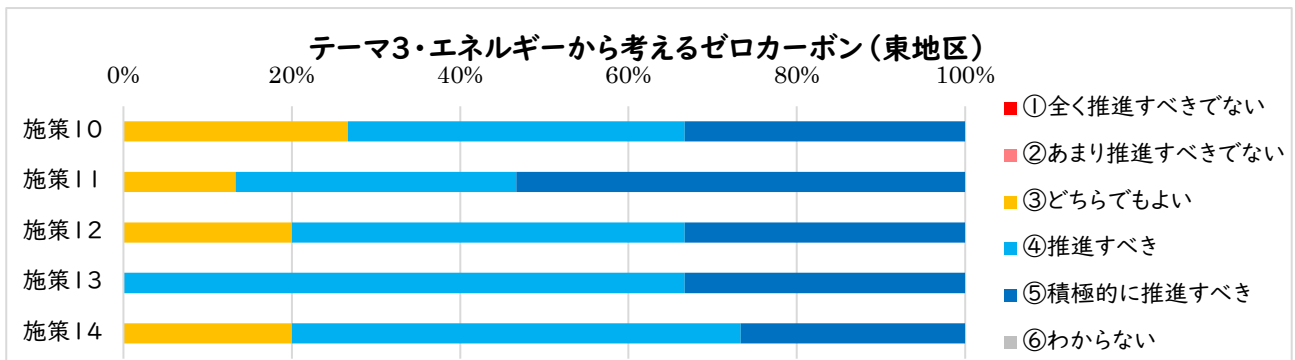
テーマ2『食・農から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 〔東地区〕 | 2票 (13.3%) | 8票 (53.3%) | 3票 (20.0%) | 2票 (13.3%) |
| 得票数 〔中央地区〕 | 5票 (33.3%) | 6票 (40.0%) | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) |
| 得票数 〔西地区〕 | 6票 (35.3%) | 6票 (35.3%) | 3票 (17.6%) | 2票 (11.8%) |

最優先施策の投票としては各地区ともに施策7の投票数が高く、施策6については唯一意見のち
らばりがみられなかった東地区のみ投票数が少ない。

テーマ3『エネルギーから考えるゼロカーボン』

- 施策10 家庭向け太陽光発電を促進する
- 施策11 地域における再エネ設備の設置を促進する
- 施策12 再生可能エネルギー比率の高い電力（再エネ電力）への切り替え促進
- 施策13 エネルギーに関する市民活動を促進する
- 施策14 (株)とところざわ未来電力の利用拡大に努める



各地区ともに大きな意見のちらばりはみられない。また東地区は施策13を、中央地区は施策11を全員が推進すべきと回答した。

施策 10 家庭向け太陽光発電を促進する

施策 11 地域における再エネ設備の設置を促進する

施策 12 再生可能エネルギー比率の高い電力（再エネ電力）への切り替え促進

施策 13 エネルギーに関する市民活動を促進する

施策 14 (株)とところざわ未来電力の利用拡大に努める

テーマ3『エネルギーから考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|
| 得票数 〔東地区〕 | 2票 (13.3%) | 8票 (53.3%) | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) | 1票 (6.7%) |
| 得票数 〔中央地区〕 | 4票 (26.7%) | 5票 (33.3%) | 0票 (0.0%) | 2票 (13.3%) | 4票 (26.7%) |
| 得票数 〔西地区〕 | 2票 (11.8%) | 6票 (35.3%) | 1票 (5.9%) | 6票 (35.3%) | 2票 (11.8%) |

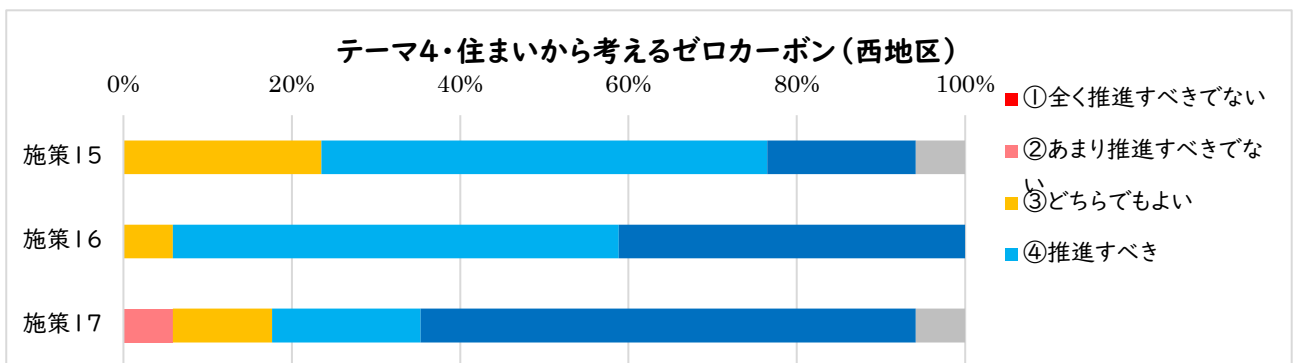
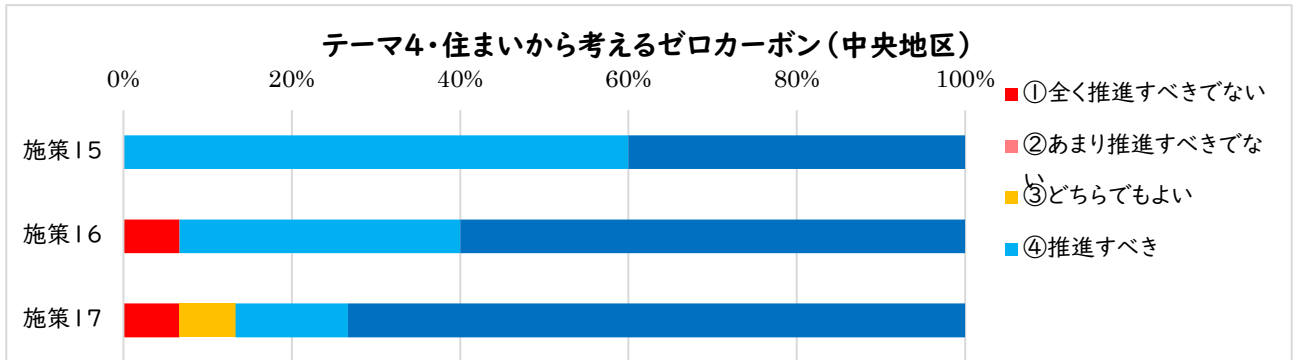
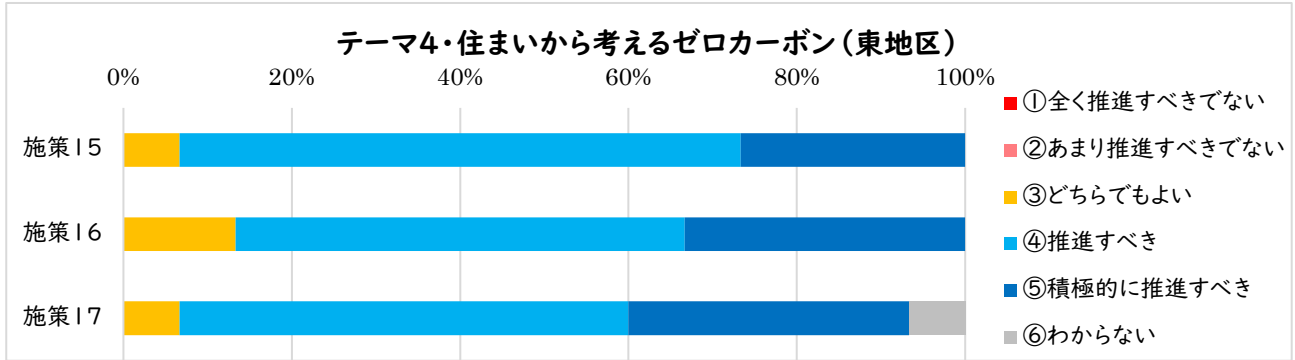
最優先施策の投票としては各地区ともに施策 11 の投票数が高く、東地区については施策 13 を全員が推進すべきと回答したにもかかわらず、投票率は 20% だった。

テーマ4『住まいから考えるゼロカーボン』

施策15 機器・設備などの省エネ化を促進する

施策16 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する

施策17 まちに緑を増やす



各地区ともに大きな意見のちらばりはみられない。また東地区は施策15を全員が推進すべきと回答した。

施策 15 機器・設備などの省エネ化を促進する

施策 16 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する

施策 17 まちに緑を増やす

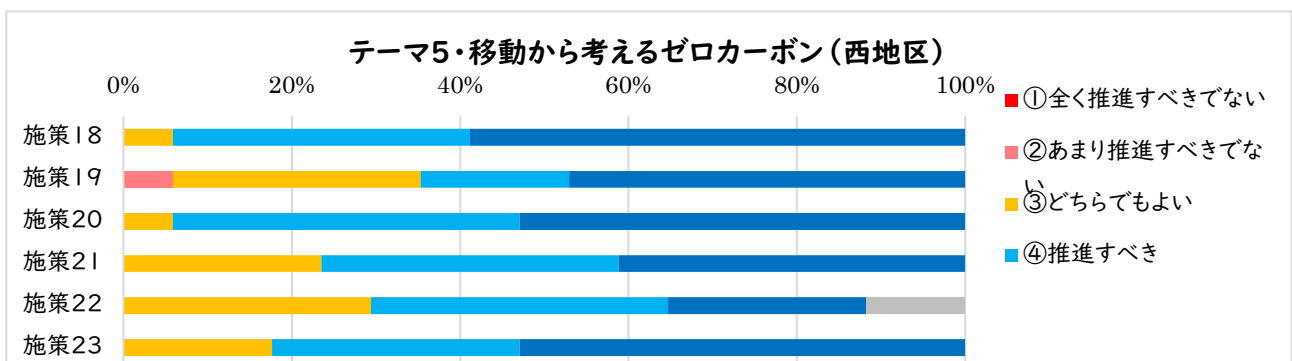
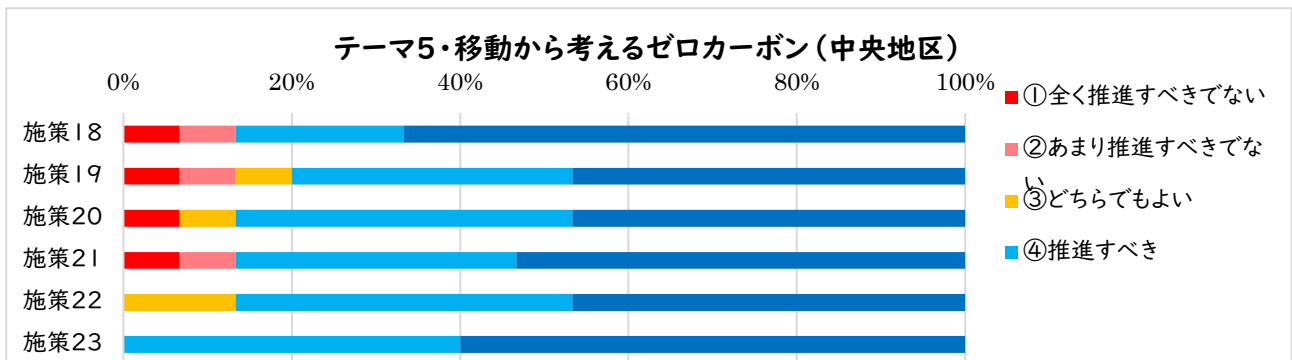
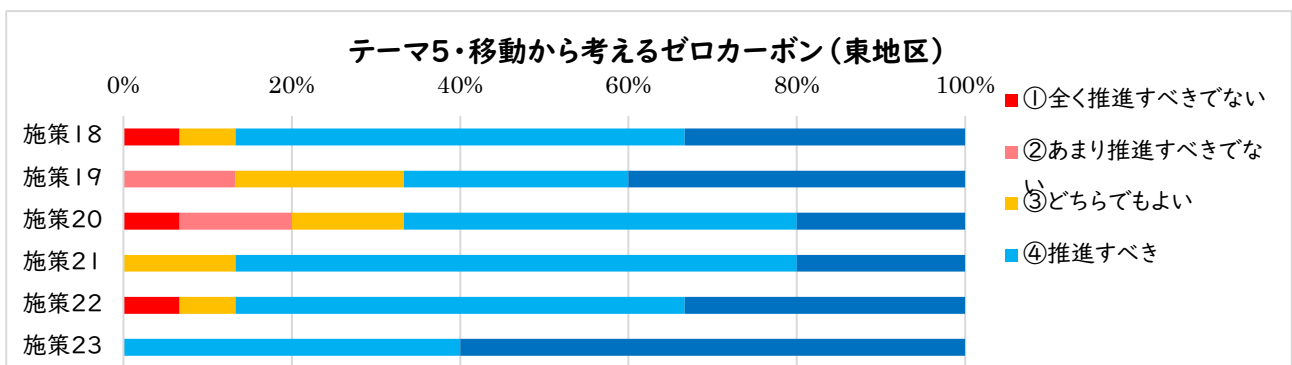
テーマ4『住まいから考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 15 | 16 | 17 |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 得票数 〔東地区〕 | 3票 (20.0%) | 6票 (40.0%) | 6票 (40.0%) |
| 得票数 〔中央地区〕 | 4票 (26.7%) | 5票 (33.3%) | 6票 (40.0%) |
| 得票数 〔西地区〕 | 5票 (29.4%) | 2票 (11.8%) | 10票 (58.8%) |

最優先施策の投票としては各地区ともに施策 17 の投票数が高く、西地区については他 2 地区と異なり施策 16 の投票率が 20%未満だった。また東地区、中央地区は各施策の投票数の差が小さいが、西地区のみ投票数の差が大きい。

テーマ5『移動から考えるゼロカーボン』

- 施策18 自転車・徒歩での移動を促進する
- 施策19 バスの利用を促進する
- 施策20 自家用車を使わなくてもよいまちづくり
- 施策21 エコ車両の利用とエコドライブの促進
- 施策22 輸送の削減と効率化を図る
- 施策23 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める



東地区は施策18、施策19、施策20、施策22に、中央地区は施策18、施策19、施策20、施策21に、西地区は施策19に意見のちらばりがみられ、他テーマに比べ各施策に対する意見の散らばりが最も大きい。また中央地区は施策23を全員が推進すべきと回答した。

- 施策 18 自転車・徒歩での移動を促進する
- 施策 19 バスの利用を促進する
- 施策 20 自家用車を使わなくてもよいまちづくり
- 施策 21 エコ車両の利用とエコドライブの促進
- 施策 22 輸送の削減と効率化を図る
- 施策 23 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める

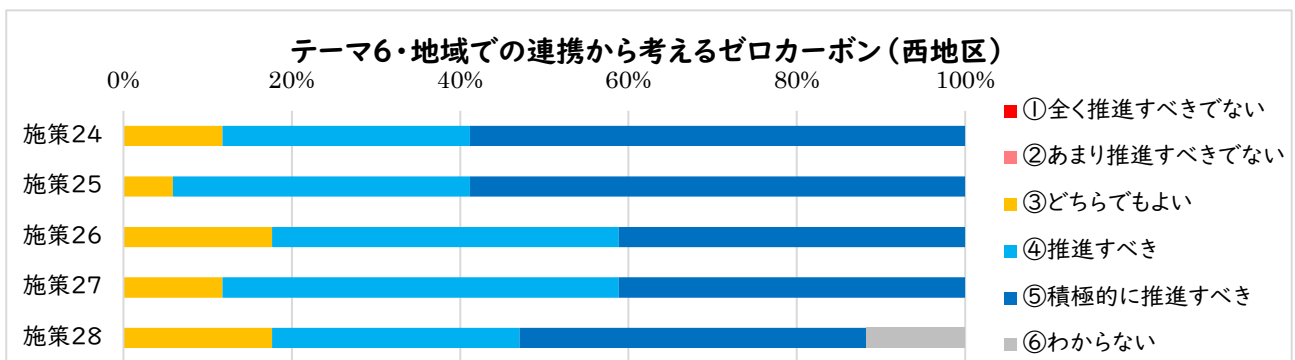
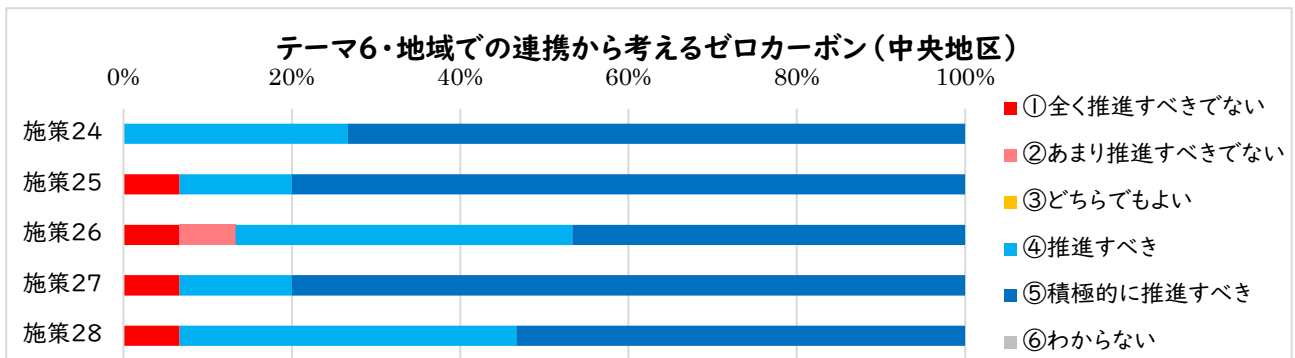
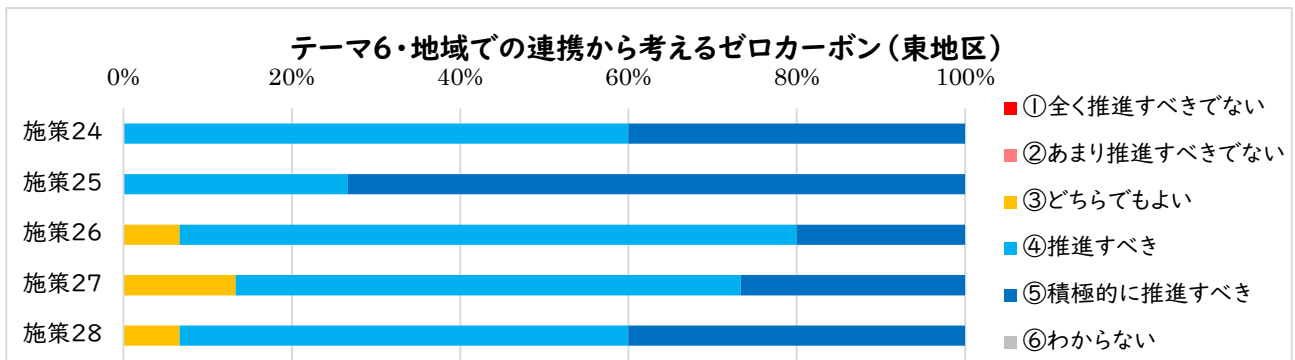
テーマ5『移動から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

| 施策 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 [東地区] | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) | 2票 (13.3%) | 0票 (0.0%) | 2票 (13.3%) | 7票 (46.7%) |
| 得票数 [中央地区] | 4票 (26.7%) | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) | 2票 (13.3%) | 0票 (0.0%) | 5票 (33.3%) |
| 得票数 [西地区] | 3票 (17.6%) | 2票 (11.8%) | 3票 (17.6%) | 4票 (23.5%) | 0票 (0.0%) | 5票 (29.4%) |

最優先施策の投票としては各地区ともに施策 23 の投票数が高く、東地区は施策 21 が、中央地区と西地区は施策 22 の投票結果が 0 票だった。

テーマ6『地域での連携から考えるゼロカーボン』

- 施策 24 地域の連携をまちづくりに生かす
- 施策 25 教育を通じた連携を促進する
- 施策 26 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する
- 施策 27 コミュニティでの取組を促進する
- 施策 28 まちごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る



中央地区のみ意見のちらばりがみられ、消極的な意見も中央地区に唯一みられる。また、施策 24 を東地区と中央地区全員が、施策 25 は東地区全員が推進すべきと回答した。

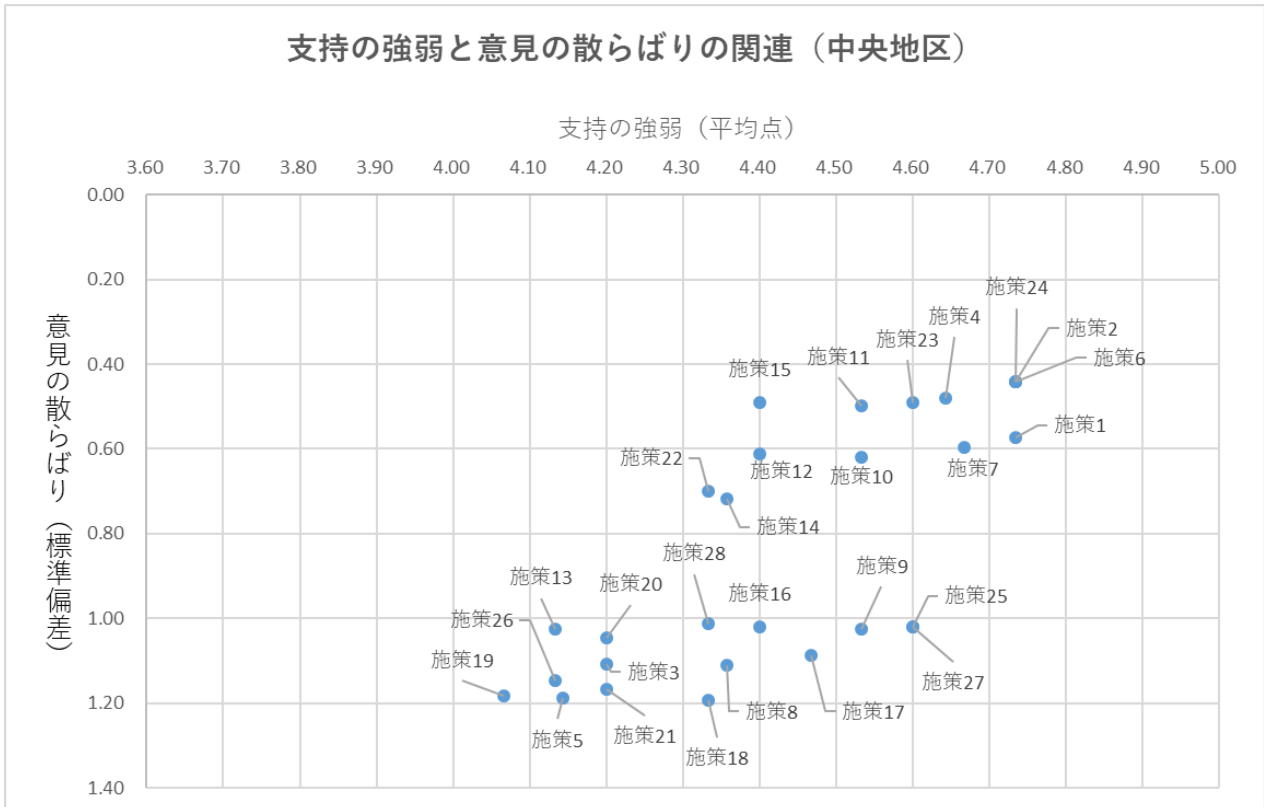
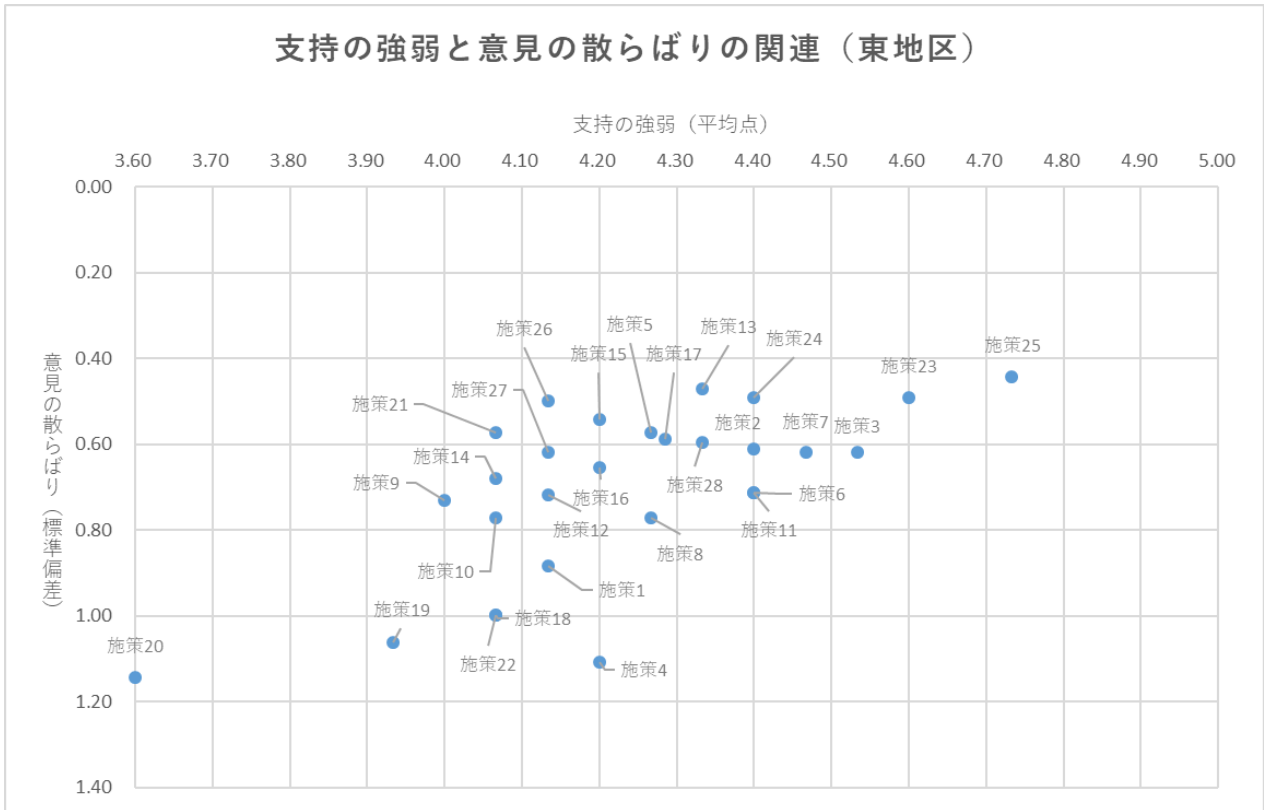
- 施策 24 地域の連携をまちづくりに生かす
- 施策 25 教育を通じた連携を促進する
- 施策 26 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する
- 施策 27 コミュニティでの取組を促進する
- 施策 28 まちごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る

テーマ6『地域での連携から考えるゼロカーボン』の施策のうち、最優先すべきと考える施策の投票結果

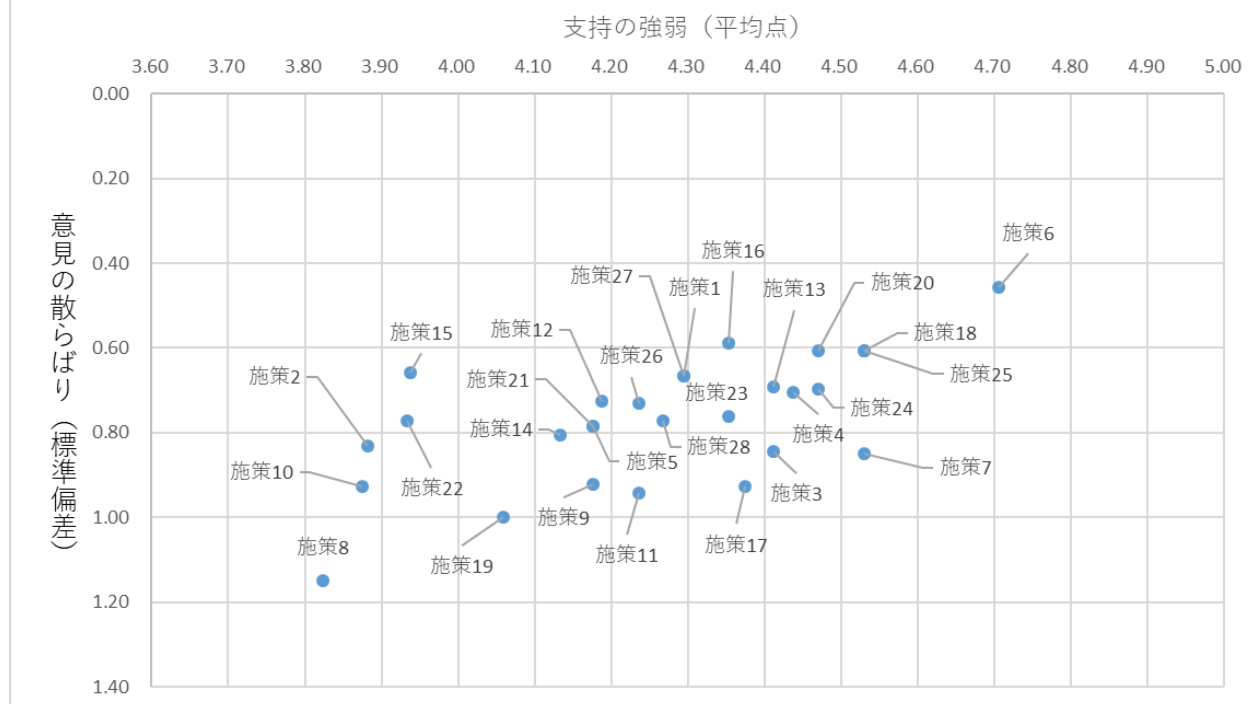
| 施策 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 得票数 〔東地区〕 | 1票 (6.7%) | 6票 (40.0%) | 3票 (20.0%) | 0票 (0.0%) | 5票 (33.3%) |
| 得票数 〔中央地区〕 | 4票 (26.7%) | 5票 (33.3%) | 1票 (6.7%) | 3票 (20.0%) | 2票 (13.3%) |
| 得票数 〔西地区〕 | 3票 (17.6%) | 7票 (41.2%) | 3票 (17.6%) | 0票 (0.0%) | 4票 (23.5%) |

最優先施策の投票としては各地区ともに施策 25 の投票数が高く、中央地区のみ施策 27 へ投票している。

[地区別の集計結果（散布図）]



支持の強弱と意見の散らばりの関連（西地区）



散布図については、下記のとおり地区毎に違いがみられた。

東地区は、平均点のほとんどが 4.00 から 4.50 の間に収まっており、平均点の差が小さいものの、施策 20「自家用車を使わなくてもよいまちづくり」だけ極端に点数が低い。そして標準偏差が 1.00 以上の施策は 4 施策と各施策の意見の散らばりは大きくない。

中央地区は、全ての施策が平均点 4.00 以上と全体的に点数が高い。但し、施策による意見の散らばりの有無が顕著にみられる。突出して傾向の異なる施策はない。

西地区は、施策毎の平均点が幅広く散らばっており、突出して傾向の異なる施策はない。そして標準偏差値が 1.00 以上の施策は施策 8「ごみの堆肥化と活用」だけであり、最も意見のちらばりが少ない